

議事録

1. 件名：「令和 5 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」で実施する試験体の載荷試験の現場確認
2. 日時： 令和 5 年 8 月 3 日(木) 14:00～16:30
3. 場所： JEF テクノリサーチ株式会社 長沼試験場
4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
日比野総括技術研究調査官、藤原技術研究調査官、大橋技術計画専門職

原子力規制部審査グループ 核燃料施設審査部門
羽場崎主任安全審査官、岸野主任安全審査官

東芝エネルギーシステムズ株式会社
磯子エンジニアリングセンター 原子力システム設計部 エキスパート ほか 1 名
パワーシステム事業部 原子力技術部 シニアエキスパート

鹿島建設株式会社
原子力部 原子力設計室長 ほか 1 名

JEF テクノリサーチ株式会社
構造材料ソリューション本部 構造性能センター 主査
5. 要旨：
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の一環として、過去に大きな地震を経験した既設プラントの設備の耐震性に係る知見を拡充するための安全研究を令和 3 年度から令和 6 年度にかけて計画し、実施している。
当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和 5 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」事業を実施している。
今回は、当事業で実施する試験体の載荷試験の現場確認を行った。内容は下記のとおり。

- ① 試験体の載荷試験の状況を確認した。
- ② 計測した試験データの速報値や載荷に伴う試験体の損傷状況について、東芝エネルギーシステムズ株式会社及び鹿島建設株式会社と議論した。
- ③ 次回の試験体の載荷試験及び今後のスケジュールについて、確認した。

6. その他

特になし